

山口子ども維新

さいきょう BBS 会（山口県 BBS 連盟）

❖ 活動の趣旨・目的

平成 23 年度に第 11 回子ども・みらい・サポート事業を行い、子ども達に野外活動を通じて日常と違う環境での体験の中から自立心と共生心を育むことができ、参加者、及び保護者から好評を得た。サポート事業の趣旨にあるとおり、単発での事業ではなく、継続的に事業を続けていくため、翌年県連が呼びかけ「山口子ども維新」を実施した。25 年度以降は、この事業をさいきょう BBS 会へ移管し、県内を 3 ブロックに分け、毎年巡回にて事業を展開することで、子ども達の健全育成の一翼を担っていく。

❖ 活動の内容

①日 時 平成 26 年 1 月 26 日（日） 10 時 00 分～15 時 30 分

※なお、前日 25 日（土）に BBS 会員のみで事前説明と準備などの打ち合わせを行った。

②実施場所 山口県山陽小野田市 きらら交流館

③参加者数 BBS 会員 9 名、小学生 7 名

④協力団体・協力内容

○協力団体：山陽小野田市社会福祉協議会（児童館）

○協力内容：参加者の募集用紙の配布、回収

⑤経費総額 94,000 円

⑥活動の詳細

イ 活動の具体的な内容

○目的 山口県の豊かな自然の中、日頃とは違う環境での体験を通し、頭を使い（考え）体を使い（実行）心を使う（思いやり）体験を通し、子ども達の意識改革（維新）を図ると共に、社会の一員としての意識の芽生えを育むことにより、子ども達の健全育成の一翼を担う。

○活動内容 新聞紙を使ったレクリエーション、竹とんぼづくり など

ロ この活動を実施したいと考えた動機

第 11 回子ども・みらい・サポート事業の取り組みを継続し、各地区会や BBS 会員のモチベーションを向上させたいと思い発案した。

ハ 実施に当たり留意、工夫した点

活動のつながりということで、第 11 回子ども・みらい・サポート事業で行った郷土の特産品『竹細工』を竹とんぼ作りという形で実施した。

ニ 実施して効果があったと考えられる点

子ども、BBS 会員とも竹とんぼを作成した経験のある者がほとんどいなかったため、自分でもやればできるという達成感が醸成できたと思う。

ホ 今後につながると思われる点、今後の課題等

前回は、県内の東部で行ったが、今回は西部で行った。来年度は北部で開催予定にしている。同様の内容でも県内を順番に開催することで、企画の労力を省略することができる。また、順番開催により BBS 会の周知ができるとともに BBS 会員の参加（協力）を広げていくことで、それぞれの地区会の活動の参考にしていただくことができる。

なお、子どもの募集を地元の児童館（児童クラブ）に依頼した。しかし、児童館の方も苦勞して下さったが残念ながら申込がなく、会員の声掛けによる一本釣り子どもを集めることとなったため、募集方法（仕方）を再検討する必要がある。

